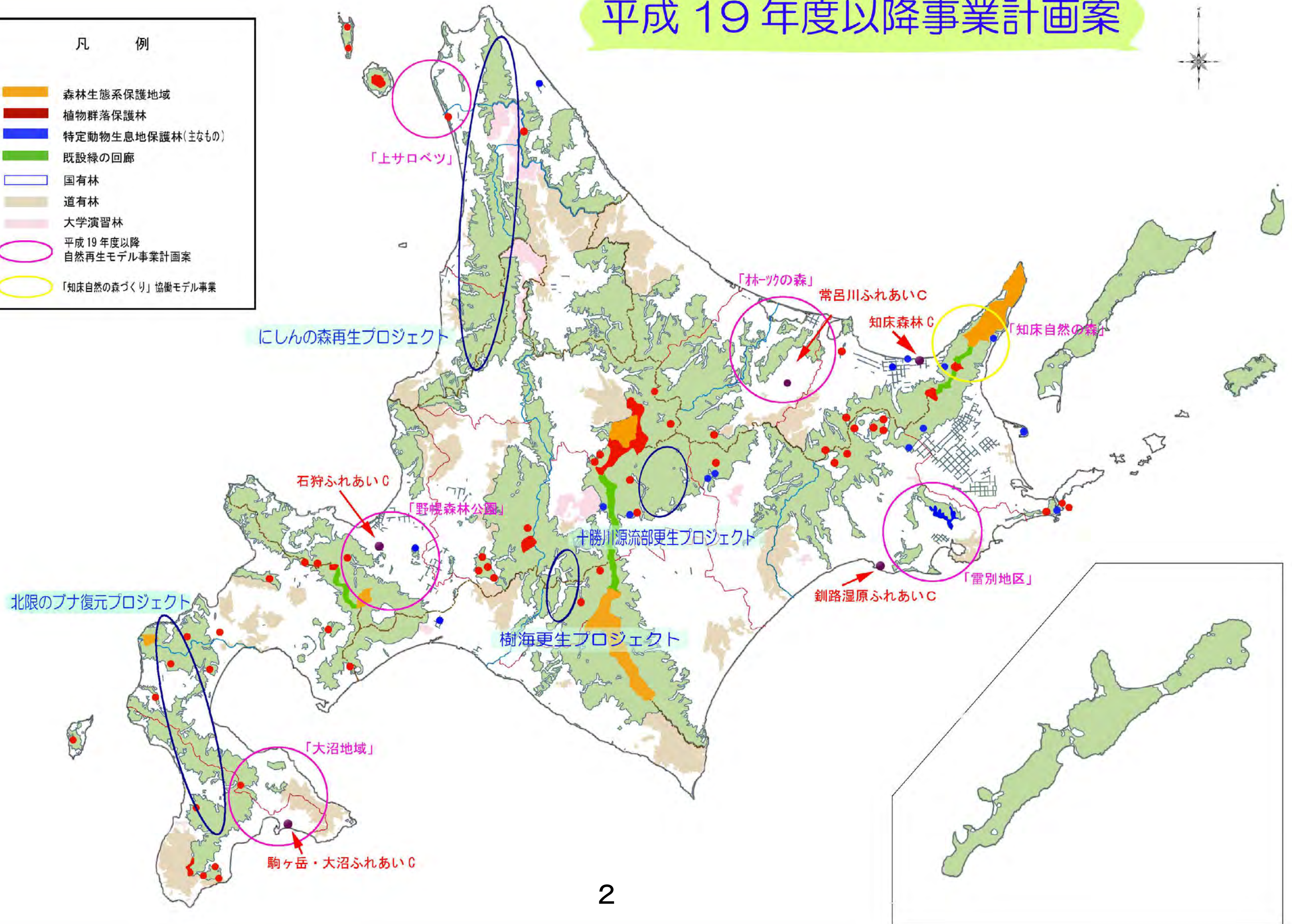
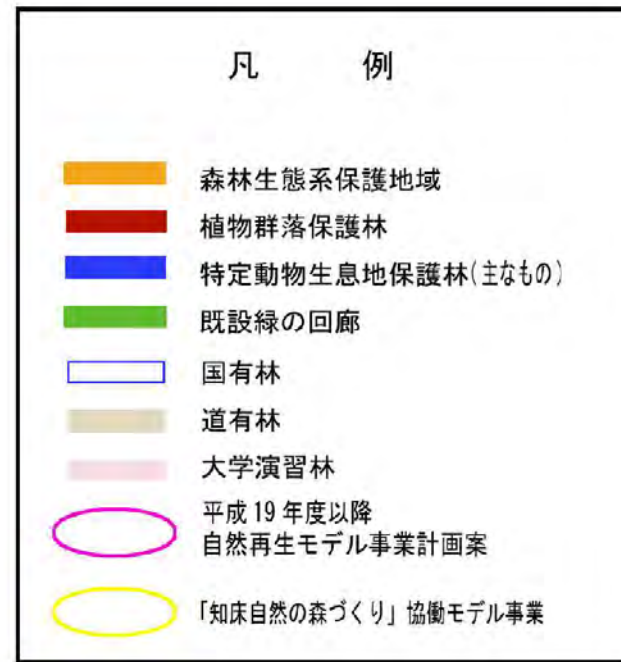


生物多様性に資するプロジェクトの展開（案）

プロジェクト名	樹海更生プロジェクト	十勝川源流部更生プロジェクト	北限のブナ復元プロジェクト	にしんの森再生プロジェクト
該 当 署 等	○日高北部署、上川南部署	○東大雪支署	○後志署、渡島署、檜山署	○留萌南部署、留萌北部署、宗谷署
背 景	日高北部署管内を東西に横断する国道274号沿い（沙流川源流部）には、クロエゾマツを主体とした針葉樹林や混交林が存在し、樹海として優れた生態系や景観を有している。特に、国道の峠部分であり、沙流川の最源流部分は、天然記念物として指定されているが、クロエゾマツやトドマツが極相を呈していて老齢化により活力が低下する一方で、未立木地や疎林化した区域がみられる状況にある。	東大雪支署管内の国有林は、東大雪山系の山々に囲まれた亜寒帯性針広混交林が広がる北海道を代表する天然林地帯であり、特に、新得町内の国有林は、十勝川源流部に位置し、植物群落保護林や林木遺伝資源保護林、日高山脈とを結ぶ「大雪・日高緑の回廊」を指定するなど、森林生態系の保全等に取り組んでいるところである。 また、環境省により1,035haが「十勝川源流部原生自然環境保全地域」に指定されている。一方、こうした保護林等の周辺の森林では、後継樹の更新が著しく不良で、クマイザサの海の中に老齢大径木がまばらに浮いているといった健全な森林と言い難い状況である。	ブナの北限地帯において、ブナ林が保護林、林木遺伝資源保存林等に指定された箇所は適切に保全されてきている。しかしながら、これ以外の森林についてはブナが優勢でない健全度に乏しい林相に改変したり、農地開発や人工林化により狭められたりしてきている。	留萌、宗谷流域は、開拓当初からニシン漁に伴う薪炭の採取が行われ、また、山火事等によっても森林の裸地化が進行した。一方、当該流域は、冬期間、強い北西風や豪雪等の厳しい環境下におかれるため、樹木の生育が制限される一方でチシマザサが侵入し、未立木地又は疎林化したままの区域が広く分布しており、「健全な天然林」と言い難い状況にある。
事業の目的	天然記念物の周辺で、健康的な森林を確保することで林分全体の健全性を確保し、地球温暖化防止対策にも資するため、未立木地への植栽や地表処理を行う。	十勝川源流部の森林15,000haを対象に、地球温暖化防止対策にも資するため、源流の森林の更生に取り組む。	保護林等の周辺の天然林等をブナを中心とする健全度の高い森林に誘導し、地球温暖化防止対策にも資するプロジェクトを設ける。	未立木地や疎林化した区域等において、地域由来の広葉樹を主体とした豊かな森林を再生することで、地球温暖化防止対策に貢献する。
事業内容	1 検討会の開催 2 事前調査等 3 事前調査等に基づき、未立木地や目標とする林分の構成樹種ではない樹種で構成された林分を、刈り出しや地表処理による土埋種子の発芽促進、風倒被害木の存置及び周辺で採取された種子由来の苗木の植栽などにより天然更新を促進し、クロエゾマツ、トドマツ林分の更生を図る。	1 検討会の開催 2 事前調査等 3 保護林や原生自然環境保全地域の周辺森林について、事前調査に基づいて、保護林や原生自然環境保全地域の林分を目標として、ササの処理や多様な樹種の伐根周囲の植栽などにより森林生態系の復元を図る。	1 検討会の開催 2 事前調査等 3 事前調査等に基づき、ブナ以外の樹種の侵入した林分のブナへの誘導及びブナの母樹がある場合には地表処理を行って天然更新を図り、未立木地では刈り出しや地表処理を行い、風倒被害木の存置及び周辺で採取された山取苗木の植栽、種子を採取し直まきを行う。	1 検討会の開催 2 事前調査等 3 事前調査等に基づき、刈り出しや地表処理による土埋種子の発芽促進、周辺で採取された種子由来の苗木の植栽、必要に応じ簡易な土止工の設置などにより森林植生の再生を図る。

平成 19 年度以降事業計画案

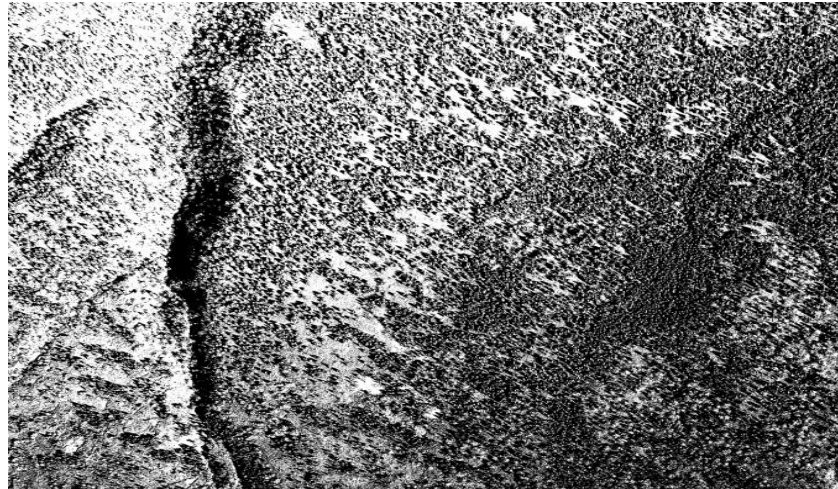


現地のイメージ

1. 樹海更生（日高北部署、上川南部署）



2. 十勝川源流部更生（東大雪支署）



3. 北限のブナ復元（後志署、渡島署、檜山署）



4. にしんの森再生（留萌南部署、留萌北部署、宗谷署）



「生物多様性検討委員会」委員の各プロジェクト委員会への配置（案）

☆ 各プロジェクト検討委員会委員名

○ 樹海更生（日高北部署）プロジェクト検討委員会

- ・ 高橋 邦秀 北海道大学名誉教授
- ・ 藤巻 裕蔵 帯広畜産大学名誉教授
- ・ 鷲谷いづみ 東京大学大学院教授
- ・
- ・

○ 十勝川源流部更生（東大雪支署）プロジェクト検討委員会

- ・ 高橋 邦秀 北海道大学名誉教授
- ・ 中村 太士 北海道大学大学院教授
- ・ 横山 隆一 （財）日本自然保護協会常勤理事
- ・
- ・

○ 北限のブナ復元（後志署）プロジェクト検討委員会

- ・ 辻井 達一 （財）北海道環境財団理事長
- ・ 中村 太士 北海道大学大学院教授
- ・ 鷲谷いづみ 東京大学大学院教授
- ・
- ・

○ にしんの森再生（留萌南部署）プロジェクト検討委員会

- ・ 辻井 達一 （財）北海道環境財団理事長
- ・ 藤巻 裕蔵 帯広畜産大学名誉教授
- ・ 横山 隆一 （財）日本自然保護協会常勤理事
- ・
- ・